

No.	質問内容	回答
1	<p>①野地より破風板の高さを教えて下さい。</p> <p>②架台の垂木の位置は均等に割ってあると考えるとよろしいでしょうか。</p>	<p>①野地上端より28mm±3mmです。</p> <p>②垂木の位置は、均等に割り付けております。 なお、架台には多少の個体差がありますので、ご了承ください。</p>
2	<p>合端台、合端台 枕材、合端台 振れ止め材の各寸法を教えてください。</p>	<p>合端台の枕材、振れ止め材は一台一台不統一のサイズのため、公表できません。 適切な角材で用意をしますので、ご了承ください。</p>
3	<p>仕様書の図面を見ると、のし緊結の銅線が心材の垂木を貫通している様に見えます。図面の通り、ドリルで垂木に穴をあけて銅線を通すと言う事でしょうか</p>	<p>瓦ガイドライン工法に準じた施工方法であれば、図面通りではなく、棟補強木材の上で銅線を緊結していただいて構いません。 なお、これ以上の回答は審査に関わるため控えさせていただきます。</p>
4	<p>競技中は膝をつくことが多いと予想されますが、膝あてやクッション材の座布団などの使用は可能でしょうか？</p>	<p>安全に作業を行うために必要であれば、膝あて、座布団の使用を可とします。 ただし、サイズ等は常識の範囲内でご用意ください。</p>

5	<p>ルーフィングの施工も競技時間にふくまれるのでしょうか？</p>	<p>架台の準備段階で大会スタッフが屋根全面にルーフィングを貼ります。そのため、選手のみなさんが作業することはございません。</p>
6	<p>持参工具等一覧表の『と石』の項目で、瓦すり用・たがねすり用、各1となっていますが、瓦すり用の『と石』を2つ（番手違い）持参する事は可能でしょうか？</p>	<p>持参工具一覧表の通り「と石」は、「瓦すり用・たがねすり用」として各1の計2個まで持参できます。 なお、持参した2個の「と石」の使用方法については、選手各自で判断をして使用してください。</p> <p>補足ですが、持参工具の「たがね」は、競技委員長確認の上で、休憩時間や一日目終了時に持ち出しは可能です。ただし、「と石」の持ち出しは不可ですので、ご注意ください。</p>
7	<p>① 継る部分の棧木・瓦座が垂木以外に留め付けになってしまいますがかまわないのですか？</p> <p>② ルーフテープを垂木通りに留め付けと書いてありますが短くきって施工しても大丈夫ですか？</p> <p>③ ルーフテープを棧木の下に重ねて高さ調整をすることは可能ですか？</p> <p>④ 治具として持ち込んだカマシ材を棧木の下にかまして、高さ調整するのは可能ですか？</p>	<p>① 仕様書をよく、お読みください。</p> <p>② 可能です。</p> <p>③ 可能です。</p> <p>④ 可能です。ただし、横50cm縦30cm高さ20cmの箱の中に入る物のみ治具と認められます。</p>